

『やさしい死神』 TENDRE EST LA MORT きのとりに 著



「死神さん……？ そっちへ行かせて」

なんども、なんども、
立ち直ってきたけれど……疲れた。
もう、がんばれない……。

生きる気力を無くしてしまった
主人公が「死神さん」に声をかけ、一夜の会話がはじまります。
2009年に日本とフランスで同時に
発刊され、その年のLIBBYLIT
賞(下記参照)を受賞した作品が、
10年ぶりに新装版となって再登場すること
になりました！



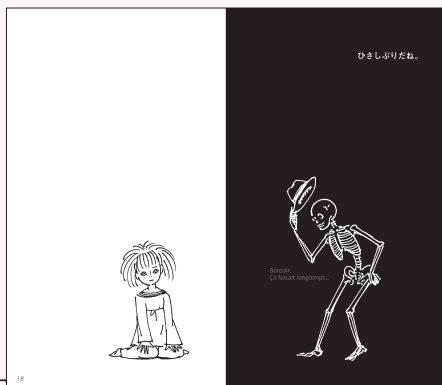
千倉書房 ¥1500+税

天地 187mm× 左右 108mm

128p モノクロ、日本語・仏語併記

ISBN: 978-4-8051-1166-6

2019年2月4日発行



白と黒の世界の間で、少しコミカルで、
かつ切実な会話が繰りひろげられる。

この本の原型は、2009年に日本で『わたしの優しい死神』（木耳社）、
フランスで“Tendre est La Mort”（Éditions Sarbacane）という題で出版
されました。フランス版はその年に、LIBBYLIT 賞—ベルギーにおける仏語
絵本最優秀賞—を受賞し、その後イタリア語、中国語に翻訳されました。
国や言語が違って、共感を得られるテーマなのだと、私自身が考えさせ
られました。あれから10年、このテーマは今こそまた世に出す時！と、熱
いエールを受けて、新装版が千倉書房より出版される運びとなりました。

（本書カバー「著者より」より抜粋）

